

## 第2回東京都北区新庁舎建設基本計画専門家会議 概要

- 日時 平成30年10月31日(水) 9:30~11:50
- 場所 北とぴあ7階 第1研修室
- 次第
  - 1 開会
  - 2 議事
    - (1) 新庁舎建設基本計画の作業スケジュールについて
    - (2) 東京都北区新庁舎建設基本計画検討方針について
    - (3) 床面積の算定方法について
  - 3 建設予定地周辺状況確認
  - 4 意見交換
  - 5 その他 ・次回会議日程について
  - 6 閉会

### ●会議概要

#### 1 開会

#### 2 議事

##### (1) 新庁舎建設基本計画の作業スケジュールについて

- 事務局から、新庁舎建設基本計画の作業スケジュールについて説明があった。

##### (2) 東京都北区新庁舎建設基本計画検討方針について

- 事務局から、新庁舎建設基本計画検討方針について説明があった。
- 委員意見等

- ・ 庁舎には、防災で3つの機能が必要ではないかと感じている。

1点目は、災害対策本部を中心として、きちんと情報処理し、判断し、区民の方に情報発信するという、指揮命令系統を発揮すること。

2点目は、近隣の方に対する安全・安心拠点というのも、避けられないことだと思う。1点目とは相容れない機能ではあるが、近隣の方が逃げてきたときの直接対応をどうするか。北とぴあのほか、近隣の避難所、小学校等との役割分担によって、色々整理の方法はあるかと思う。

3点目は、ボランティア団体やNPOとの災害時対応の連携の拠点みたいものが、今後ますます重要になってくる気がする。平常時から区内で活動されているボランティア団体との、災害時の連携協働を、どういう風にイメージしておくのかということが求められる。

- ・ 庁舎規模を、本来なら絞り込みたい。だが、一体どれ位の機能で、どれ位の床面積が必要なのか。新庁舎に盛り込むのか、それとも別のところを活用するのか。

- ・ 新庁舎の建つ所が 200 年に 1 回の浸水想定エリアであり、浸水すると孤立してしまう。1000 年に 1 回の津波に対応すべきとなっている中で、200 年に 1 回の浸水に対応しないわけにはいかない。

この建設予定地で、どういう措置が必要で、どこまでが限界か。

- ・ 洪水対策の関係では、地下部分が一番影響を受ける。一定の区画は水密化する判断はあり得るかとは思ふ。また、ある程度浸水してしまうことも許容する判断も、どこかの段階であり得る。

- ・ 孤立したときにどうするかという問題。自動車が使えなくなる。水害であれば、そんなに建物のダメージは無いイメージだが、人が出入りできるかどうか。最新鋭の庁舎が災害時に全く使えなくなって、古い施設を使った人海戦術という選択でいいのか。

災害対策本部だけではなく、応急危険度判定や罹災証明の発行等、色々なことをしなければならぬので、動くようにしておかないといけない。これはBCPに関連すること。

- ・ 防災拠点と防災のスペースは確かに大切だと思うが、普段それをどう使っていくのか。相当面積を必要とすると思うので、その部分の使い方を、まちづくり全体で考えていかないとはいけない。

- ・ 地震の問題が切迫している。色々なことを絡めて考えていくことが必要だと思う。

- 検討方針は、防災に関する記載を充実させることになった。

### (3) 床面積の算定方法について

- 事務局から、床面積の算定方法について、基本構想で示した 33,000 m<sup>2</sup>のほか、同様の算定方法で試算した資料の説明があった。

- 委員意見等

- ・ 庁舎規模について、どんな機能をどこまで入れるのか、相当しっかり考えて必要面積を算定しないとはいけない。おそらく、浸水可能部分とそうじゃない部分を機能分けしなければいけない。

- ・ 床面積をただ減らすのではなく、働く人の満足度も上げなくてはならない。簡単にミーティングできるような少し余裕のある部屋が必要なので、全体の面積はそんなに減らない。

あとは、共通会議室と収納の考え方。特に収納。どれ位圧縮可能なのか。今は紙媒体をベースとする庁舎の必要倉庫、必要ファイリングスペースを見ているが、やり方によってはかなり圧縮可能ではないか。これは働き方に直結する。ソフト側から方針を決めないといけない。

- ・ 狭くできればいいが、狭くすることを目的化するのは適切ではない。

## 3 建設予定地周辺状況確認

- 建設予定地周辺を見学した。





#### 4 意見交換

- ・ 建設予定地を見てみて、非常に課題は多い。色々勉強しなくてはならないことが沢山ある。専門家と言っても何でも分かっている訳ではない。勉強する機会を作っていただき、その上で、結論を出したり、考えたりしたい。より良いものにするために、予算も含めて、体制を是非作っていただきたい。我々も、その中で、是非力を発揮したい。

#### 5 その他

##### (1) 次回会議日程について

- 次回会議日程 平成31年4月（詳細は後日調整）

#### 6 閉会